



トステム株式会社

デュオ 和室用出窓JSL220型 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●下記項目は、出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になるおそれがありますのでお守りください。

- ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・60角の間柱(ただし、張合わせは不可)で開口部を作ってください。
- ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- ・間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
- ・下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
- ・シャッターボックスは必ず奥まで差込んでください。
- ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外止めを上げてください。

●本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大30kg(シャッターボックスを含めると45kg)になります。

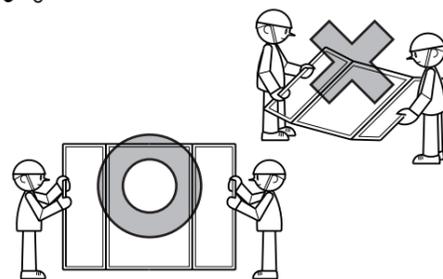
施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。

- ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
- ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
- ・シャッターボックスまわりのシール材は絶対にはがさないでください。
- ・シャッターボックスは必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
- ・外壁は52mm以下に仕上げてください。
- ・出窓下部に造付け収納部を作らないでください。
- ・縦枠フィンとシャッターボックスフィン・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

■取付け上へのお願い

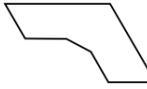
- シャッターボックスにはしごをかけたり、のったりしないでください。キズ・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響をおよぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



■取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	イ	ロ	ハ	ニ
名称	皿木ねじφ3.5×32	ナベタッピンねじφ4×30	ナベタッピンねじφ4×55	皿木ねじφ3.1×20
姿図				
使用箇所	シャッターボックス-躯体 縦枠(室外側)-躯体	水切り-躯体	補強ブラケット-躯体	縦枠(室内側)-躯体
袋表示	取付け用1			

記号	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ
名称	ナベタッピンねじφ4×30	皿木ねじφ3.1×20	トラス小ねじ(先付) M4×10	皿木ねじφ3.1×20	縦枠下部防水シール	防水補助シール
姿図						
使用箇所	正面上枠-シャッターボックス	天板見切り縁-シャッターボックス	シャッターボックス-縦枠	天板見切り縁-躯体	縦枠下部フィン-下枠補強材フィン	シャッターボックスフィン-縦枠フィン
袋表示	取付け用2			取付け用3	—	—

■取付け順序

1 開口部の確認

■取付け詳細

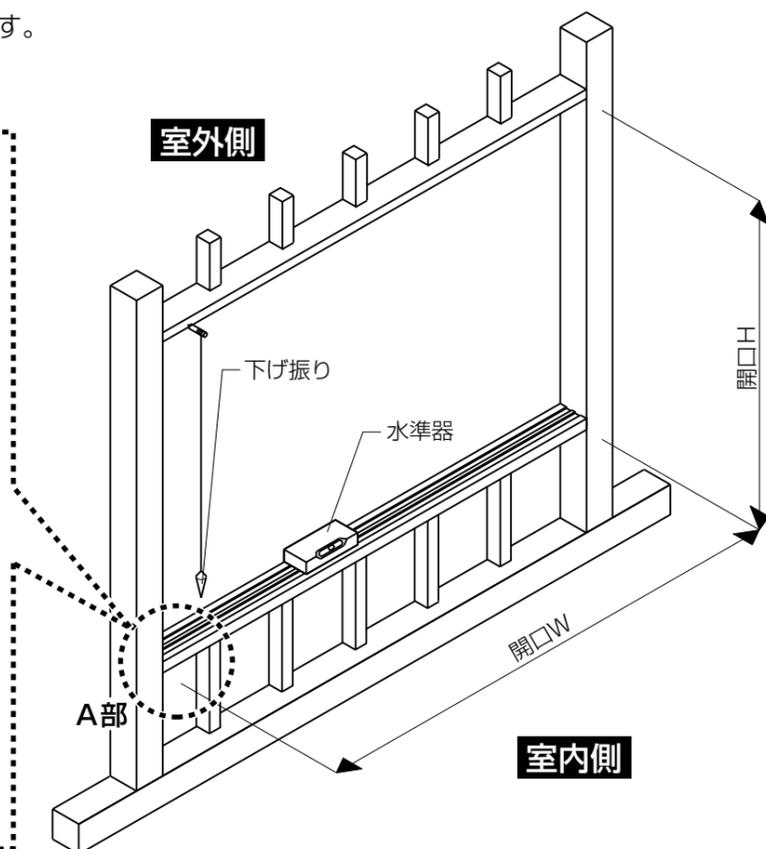
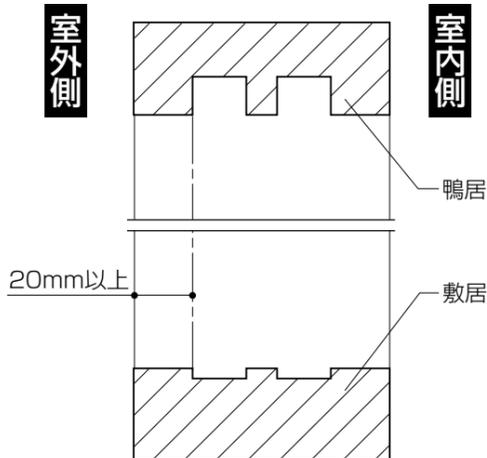
※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

1 開口部の確認

①水平・垂直を確認し、開口部を作成します。

■A部詳細図

※鴨居・敷居の建具溝は、室外側より20mm以上離してください。障子が建込めなくなります。



▲注意

- 必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・まぐさ・60角の間柱（ただし、張合わせは不可）で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。

2 本体の取付け

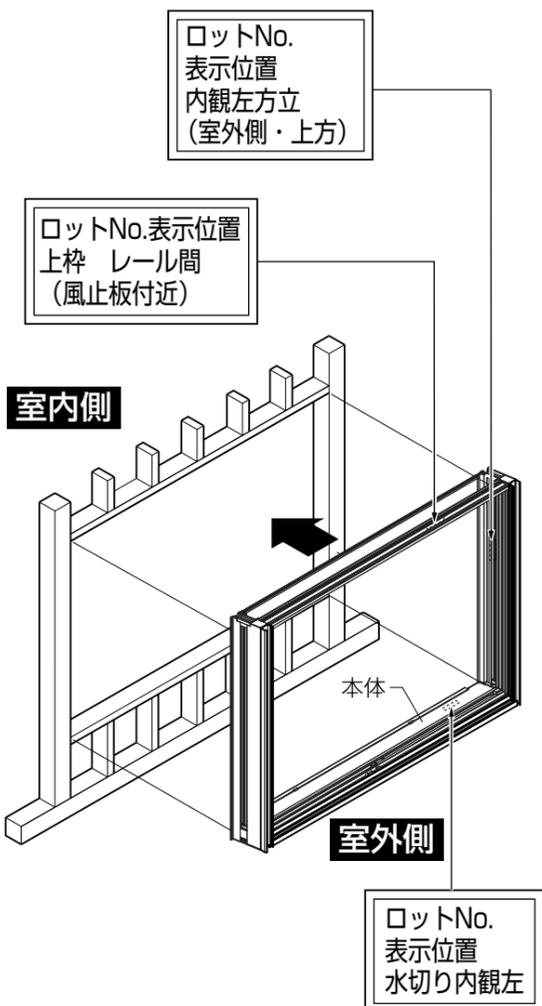
2 3 本体・シャッターボックスの取付け

- ①本体を開口部に差込み、補強ブラケット・水切り・縦枠（室外側）の順に躯体に固定します。
- ②シャッターボックスを本体に差込み後、Ⓣねじで本体と固定し躯体に固定します。【図1】
- ③上枠とシャッターボックスをⓉねじで固定します。
- ④天板見切り縁とシャッターボックスをⓉねじで固定します。
- ⑤縦枠フィンとシャッターボックスフィンの境目にⓧ防水補助シーンを張ります。【図2】
- ⑥本体を躯体に取付けた後、Ⓤ縦枠下部防水シーンを張ります。【図3】

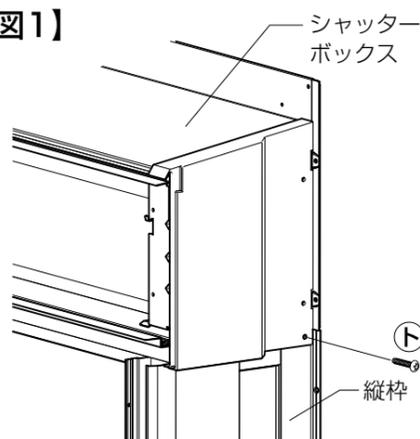
※コーナー部にすき間ができないように押付けて張ってください。

▲注意

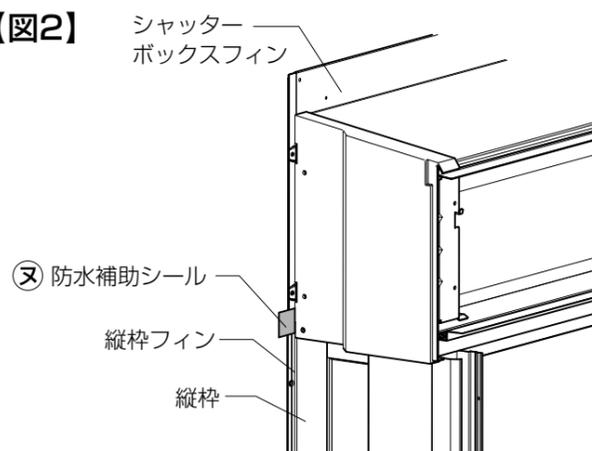
- シャッターボックスは必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。



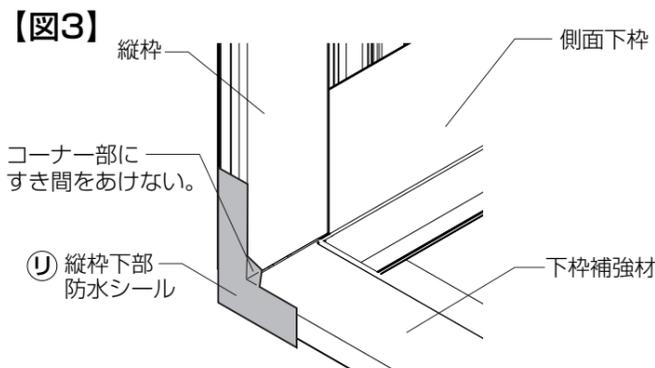
【図1】



【図2】



【図3】



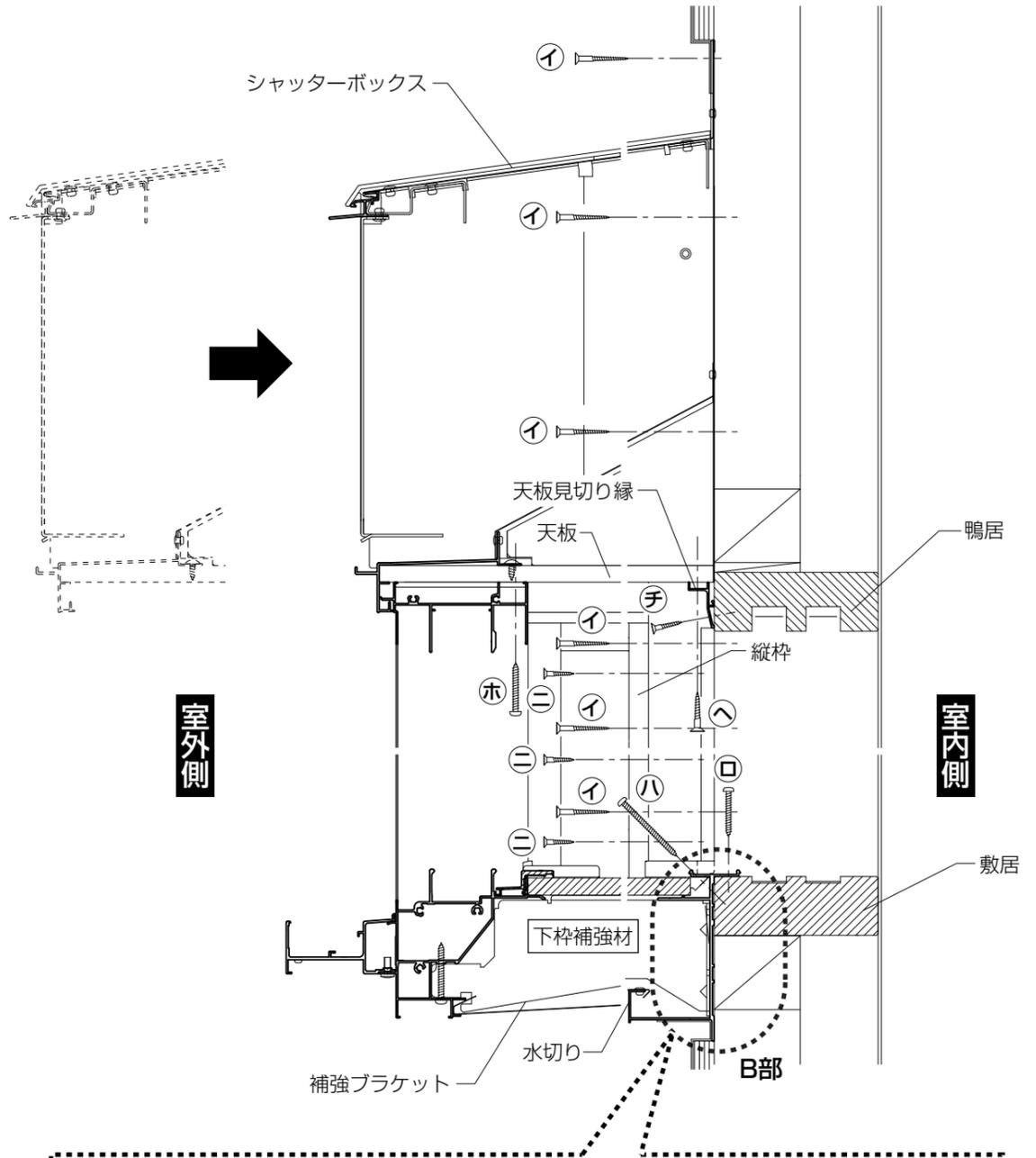
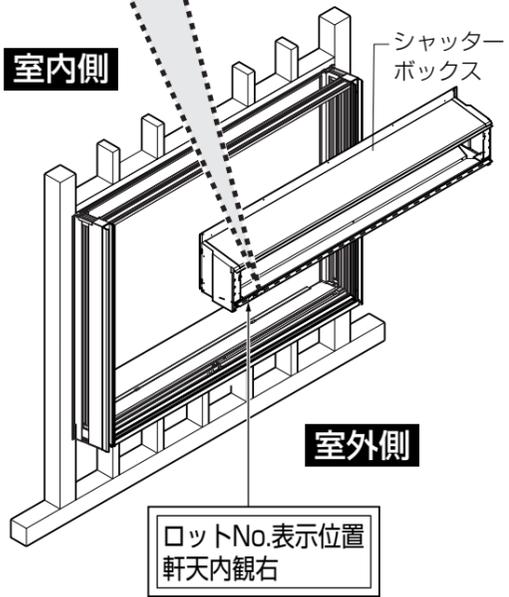
▲注意

- 縦枠フィンとシャッターボックスフィン・下枠補強材のフィンの境目に防水シーンを張ってください。

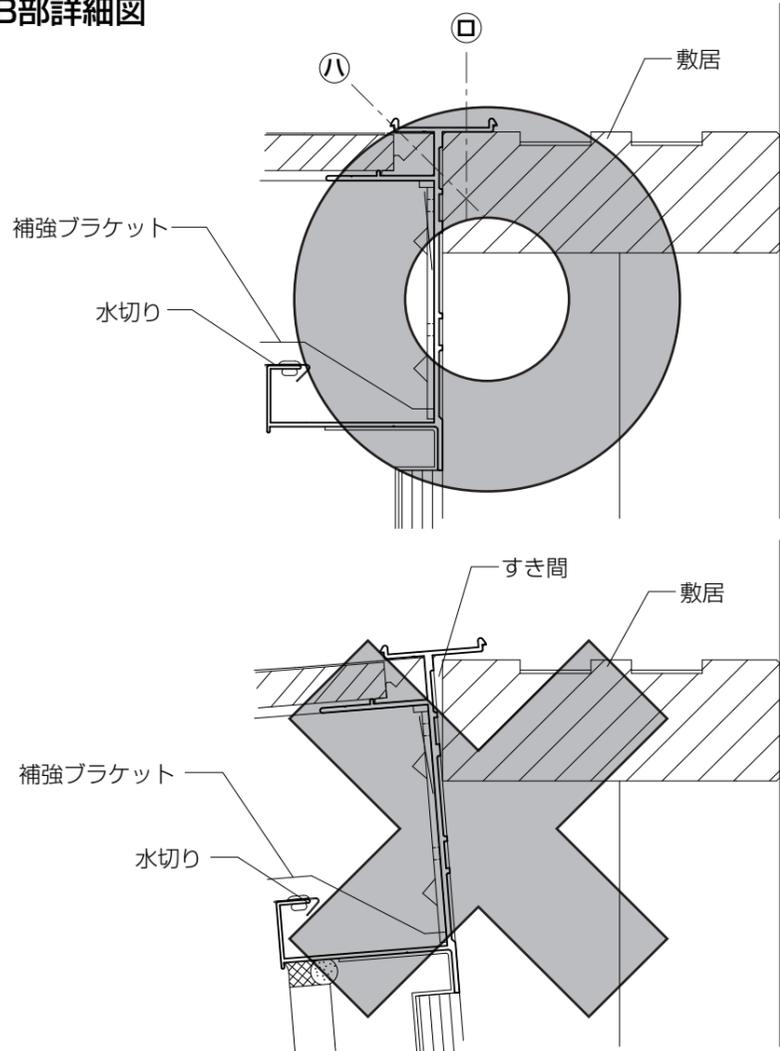
3 シャッターボックスの取付け

▲注意

●シャッターボックスまわりのシール材は絶対にはがさないでください。



■B部詳細図

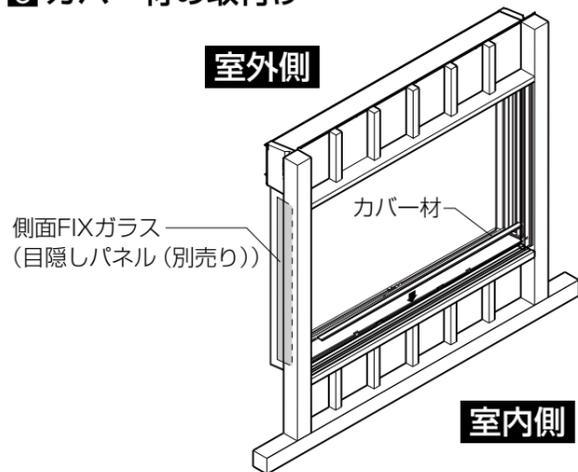


▲注意

●下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
※必ず ⑧・⑩の順に固定してください。

4 側面FIXガラスの建込み
目隠しパネル (別売り) の建込み
(使用する場合のみ)

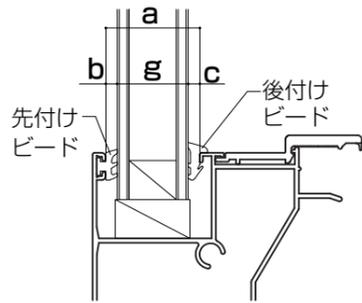
5 カバー材の取付け



6 障子の建込み

7 建付け調整

4 側面FIXガラスの建込み
目隠しパネル (別売り) の建込み (使用する場合のみ)
■FIX部ガラスビードの使用区分



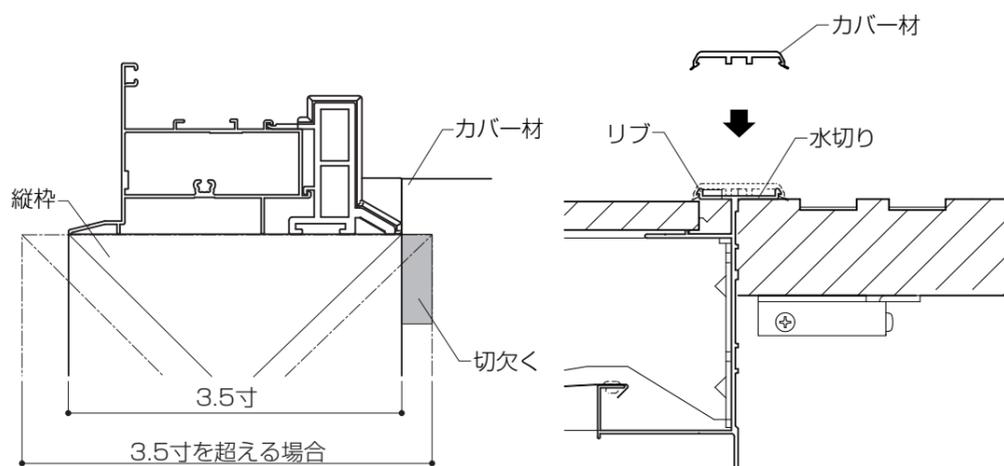
※後付けビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の4方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。
※目隠しパネルの厚さは、18mmとなります。

■ガラスビード一覧表

PG (複層ガラス) a=24		先付け ビード (b)	後付け ビード (c) (別売り)	
ガラス厚 (g) (mm)	ガラス 構成例			
12	3-6-3	3	9	
13	3-6-4		8	
14	3-6-5 4-6-4		7	
15	4-6-5		6	
16	3-6-6.8 5-6-5		5	
17	4-6-6.8 5-6-6		4	
18	5-6-6.8 3-12-3		3	

5 カバー材の取付け

- ①柱内々寸法に合わせてカバー材を切断します。
 - ②カバー材を水切りのリブに取付けます。
- ※3.5寸を超える柱の場合は、カバー材を下図のよう切欠いてください。

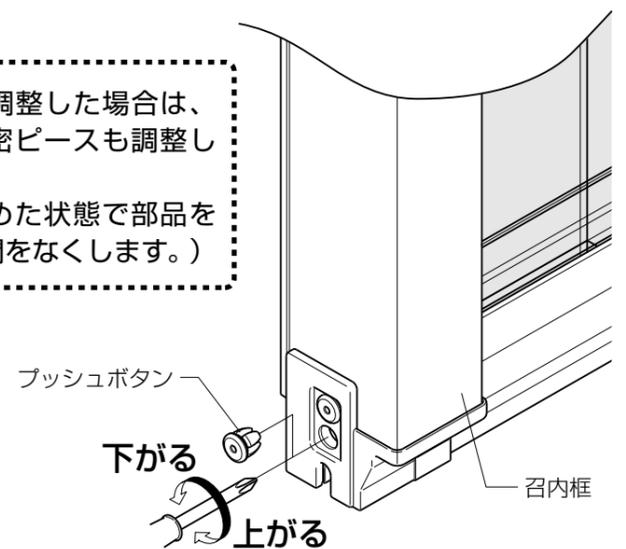


7 建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

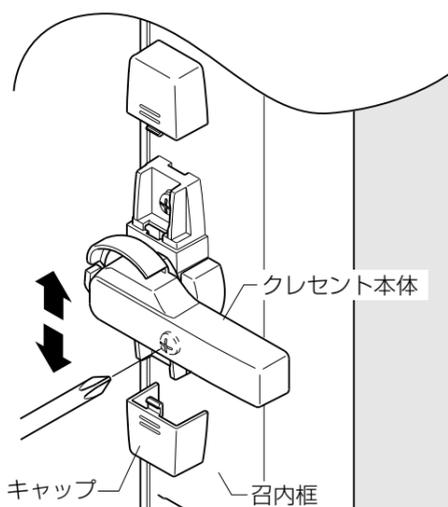
お願い
※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。
(障子を閉めた状態で部品を下げずき間をなくします。)



■クレセント調整

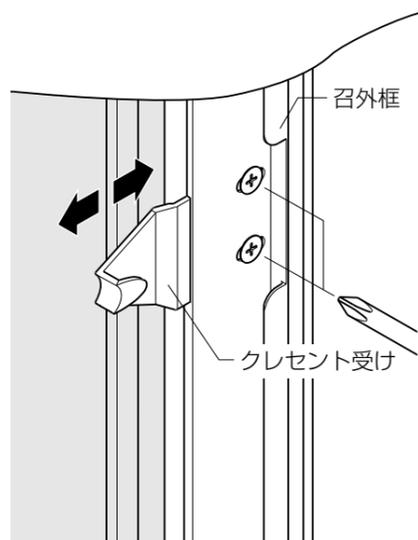
【上下方向の調整 (クレセント本体)】

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじを緩めてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



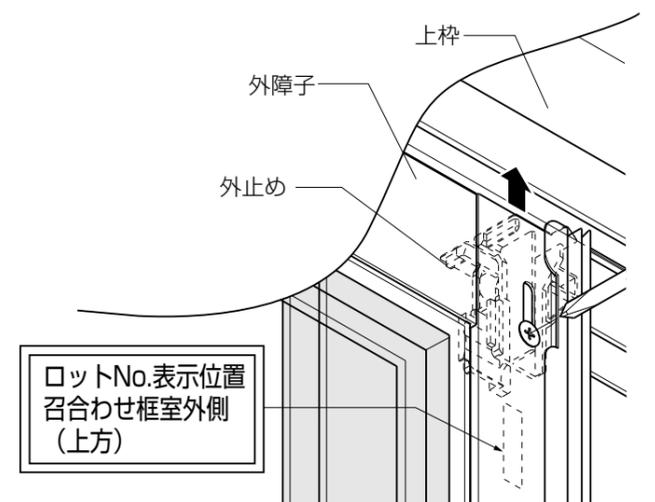
【左右方向の調整 (クレセント受け)】

- プラスドライバーでねじを緩めてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



■外止め調整

- プラスドライバーでねじを緩めて外止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



▲注意
●障子の建込み・建付け調整後、必ず外止めを上げてください。